

# HAND in HAND

はんど・いん・はんど

平成元年12月8日

国立婦人教育会館

親子セミナー

〔小中高生のための離婚セミナー〕

■恒例の春夏の宿泊も、最近は小学生、中学生の参加が増え、子供のためのプログラムも充実してきたと自負しています。とはいえ、これまでは準備段階。いよいよ来年からは、短期間ではありますが、ハンド・イン・ハンドの会のフリースクールを開くつもりです。

■7年前、私は「子どもが書いた離婚の本」(コンパニオン出版)を翻訳しました。これは、アメリカのボストンに住む11歳から14歳までの20人の子供たちが、自分の親の離婚や別居、再婚で悩み、同じように悩んでいる多くの子供たちのためにと自分たちで書きあげた本なのです。

■アメリカでも当時、学校で離婚問題を取りあげることはほとんど無く、子供たちは誰にも話せず悩んでいることが多かった。それを、担任のローフス先生の指導で、離婚、法律上の権利、親の気持について考え調査し始め、「離婚の子供」に対する偏見から自ら解放されるようになったのです。

■私は、日本の学校でもこうしたことがオープンに語られるといいなと思い、学校の先生向けに「子供のための離婚プログラム」のようなセミナーも働きかけましたが、どうもうまくいきません。そこで、私たちが日本の“ローフス先生”たちを集めて、遊んで仲良くなりながら、離婚から子供たちが解放され、乗り越えていく力をつけられるようなセミナーを開くほうへと方向転換したのです。料金は実費程度におさえるつもりです。親と一緒にでも(研修等はもちろん別行動)よし、子供だけの参加もよし。みなさんは、こういうセミナーに子供を参加させてみようと思いますか。子供さんはどう思うでしょう。お正月号でも、子供さんへの質問用紙をはさむつもりです。

(円より子)

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手を取りあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

第104号 200円 禁無断転載

【発行日】1989年12月1日

【発行所】現代家族問題研究所  
東京都渋谷区神宮前3-33-2-202  
〒150 電話03(402)7354、4385

【分室】0484-81-0496 児玉

【発行・編集人】円より子

【編集スタッフ】有賀佐知子

【印刷】(株)日出島

104

# 報告

## 老後アンケート

アンケート報告第二弾をお送りします。離婚している人たち二二七人中、子供のいる人は二一六人(七四%)。そのうち母と子だけで暮している人(便宜上、母子組と呼びます)は二二一人(五六%)、親と一緒に、つまり三代で暮している人(便宜上、実家組と呼びます)は七二人(三三%)、単身で暮している人(便宜上、単身組と呼びます)は一一人(五%)、娘の友

達や、別れた夫の親や姪などが一緒の人(その他組と呼びます)は一〇人(五%)となっています。今回は、過半数を占める母子組の二二一人の生活状況についてお知らせしたいと思います。

### ■母子組の母は団塊の世代

年代をみると、母子組のトップは三十代後半と四十代前半。いずれも同数の二八人(二三%)ずつで、この二つの世代で四六%を占めます。三位が三十代前半(二三人・一九%)、四位が四十代後半(一九人・一六%)で、五十代前半、二十代後半、六十代以上、五十代後半、二十代前半という順位になっています。

実は四年前に「離婚後のアタックメントとアイデンティティについて」の調査をした時は、二十代は今の倍の人数で、二十代に実家組が圧倒的に多かったのですが、今回は、実家組は三十代前半がトップとなっていて驚いたのです。

でも良く考えてみたら、四年経って、ちょうど二十代後半だった人たちが三十代に突入したわけですね。そして、前回の調査の時と同じように、団塊の世代(つまり

今の四十歳前後)は実家に頼らない母子組が多いといえそうです。

職業としては事務職がトップで四四人(三六%)、次いで専門職・技術職が三九人(三三%)。手に職を持ち、安定した仕事についていることがうかがえます。

その就労形態は正社員が五六人(四六%)、公務員一九人(一六%)、経営者七人(六%)で、パートや自由業の不安定な立場に比べ、より安定した立場の人が七割近い数(六八%)になっています。

老後も今の仕事(職種)を続けたいかという質問に対し「できるだけ長く続けたい」が三七人(三一%)と多いのは、専門職・技術職ということと、自分で選んだものとして、またやり甲斐のあるものとして、仕事に対する満足感が高いのでしょうか。

それとも、母と子だけの生活では他に頼るべきものはなく、子供に教育を受けさせ独立させたあとは自分のくいぶちのために働き続けねばという必要性が高いのかもしれない。

### ■子との同居志向六%

たとえば、我が国の持ち家率は

七割ですが、この母子組では三七%、約半分です。

賃貸のアパートに住んでいる限り、家賃を払い続けなければならない。その住居費や生活費は何でまかなうつもりか。

老後の生活基盤を年金でと考えている人は五九人(四九%)。働き続けての賃金でという人が三二人(二六%)です。今年の総務庁調査では一般の人々は女性の場合、八八%が年金で老後を考えているのを見ると、いかに離婚母子組は年金をあてにできないでいるかわかります。

一般的にも(総務庁調査)、経済的に子供に頼ろうというのは九%と少ないのですが、母子組は六%とさらに少なく、同居志向に至っては一般では三九%が同居志向、母子組では何と六%という数字になっています。子供とは同居せず経済的にも援助を受けずに働き続ける、しかし趣味・教養が老後にはもっとも大切(五一%)と言いきる母子組は再婚やパートナーについてどう考えているのか。また、収入・貯金・保険等は?等々、次号でまたご報告したいと思います。

円より子

# 元気印の女たち

「元気印の女たち」の第二回はニコニコ離婚講座でおなじみ、弁護士・金住典子さんです。

★

金住さんは、一九四二年五月二六日生まれ。大学在学中に学生結婚をし、昨年離婚。現在、高三の娘と暮す。

弁護士として離婚事件に取り組み一方、優生保護法の問題でも活躍。前回の参議院選で、山本コータロー氏の「ちきゅうクラブ」から出馬。そのネットワークの流れをくむ、「ネットワークちきゅう」を作り、活動を開始しようとしている。



円 弁護士として今、一番多いのはどんな事件ですか。

金住 やっぱ離婚事件が多いでしょうね。

円 離婚事件でも、いろんなケースがあると思うんですけど、引き受けたくなるケースというのは、金住 ケースを選びませんが、自分が勉強になって、権利を拡大するという方向になる事件は引き受けたい、それはありますね。やっぱり、いつも自分をリフレッシュしていく、何かに挑戦していくということがないと、燃えない。

円 優生保護法も挑戦のひとつですね。

金住 そうです。堕胎罪と優生保護法を廃止して、中絶の自己決定権を確立した形で新しい健康法を作ろうという運動は、女性の人権の根源にかかわるような戦いだ、という思いでいるんですね。

円 離婚は少しタブー視されなくなってきたけれど、中絶は多くの人がしているにもかかわらず——離婚事件数よりも多いわけでしょう、数

字に現れているだけでも六五万件あって、もっと多いだろうと言われているから、日常的にされているものだけど、現実の中絶の話をみんながするかというのと、やっぱりタブーですものね。暗やみにほり込まれたままという状況では、問題が見えてこないですよ。これはすごく大事なことだと思いますね。

金住 そしてね、やっぱり人間が生きて、あるいは生きがいを持つ、あるいは創造性に生きていくということの根源に、性的エネルギーの使われ方が、男と女の関係の中で抑圧されてゆがめられていると思うの。そして円さんがおっしゃるように、女たちはそこでは語れない。語るだけ解放されていない。それを離婚と同じように解放していく。ということとは、自分たちのおかれている状況を逆転させなきゃいけないですよ。

それには、個人の意識改革っていうだけでは、あまりにも仕組みが重すぎてできないわけです。避妊の問題でも性教育の問題でも、本来は政治の問題なんです。それをひっくりかえしていかなかったら、私は本当の女性解放を女性たちが

主人公になって、男の人たちも巻き込みながらやるという時代の展望はでてこないんじゃないかと思っていますね。

円 そうすると、優生保護法の問題、離婚の問題、さまざまな問題を、もう少し政治の面まで深めていければというのが、今回の「ネットワークちきゅう」を作ろうというのにつながるんじゃないか。

金住 今までは政治家嫌いであ、政治の世界は個人を殺すからいやだと言って、逃げてきたんだけれど。逆に言えば、それだけ力がついてきたことだと思うのね。もう逃げることをやめて、今まで考えてきたようなトータルな個の解放という視点で、政治の場面に何かを作り出していきたい。そうしなかったら、自分も生きないんじゃないかという問題意識。

個というものが非常に強くて豊かになれば、組織とか人数というのはあまり問題でない。従来の運動体、政治体というのは、みんなピラミッド型で、数を追い求める結果主義が多いでしょう。そういうのは個を殺しちゃうという私の発想があります。私が理想とする社会は、やっぱり個人が主人公で

個人を生かすようなシステム、文化、教育、政治システム、全部がそうあるべきだ、というのが私の理想論なんです。

それを、今まではコミットしたってできないから逃げて、自分の大事なところをやっているかと思っていたんですけれど、そろそろ年もとってきたし、政治レベルでの規模でやろうと思えばやれるんだ、というのを作り出して見たかった、っていうのがあるんです。円 今後「ネットワークちきゅう」では、何を核としてやっていかれるんですか。

「ネットワークちきゅう」基本目標  
・地球を守ろう。ひとりひとりのいのちを守ろう。  
・人権はひとしく、生き方は多様に。

・農業・漁業は大切に。安全な食べ物を。

・女と男の性別役割分担をなくそう。

・女性の声が生きる社会を。  
・心ゆたかなくらしと文化を。  
・非暴力を宣言する。

——会員募集中——

連絡先 ☎03(985)3308〜9

金住 当面は、ニュースを基本にして、出会いと交流の場を広げていきたい。それはまさに今、私たちがイメージするような個と個の緩やかなネットワーク、一人一人が自分の課題を持っていて、職業を問わない。こういう政治を作っているか、こういう世の中を作っているか、だからこういう生き方をしよう、こういう戦い方をしよう、そういうメッセージを持っていて人たちに参加してもらいたいわけです。

★

円 金住さんはいくつでしたか。

金住 四七です。

円 例えば、六〇歳のときになにをしているか、七〇歳のときは、というようなことを考えられますか。

金住 大体私、一〇年くらいのサイクルで未来を考えることにしているんです。昔からそういうところがあるの。婦人協同(法律事務所)を作ったときも、一〇年くらいのスタンズで。今すぐっていうと焦るでしょう。じゃなくて、一〇年くらいのサイクルで、こういうイメージの事務所を作りたいなあ、こういう仕事をしたいなあと思

思い描くと、かなり時間があるから、一生懸命、焦らずに勉強できるじゃないですか。

円 一〇年あれば、試行錯誤して当たり前、やっていけるから。

金住 そうそう。わりあいそういう発想できたと思うんですね。

円 これから「ネットワークちきゅう」の方は、一〇年は土台にかかるだろうと。

金住 そうですね。

円 そうすると、大体六〇歳前になりますけれど、その後は。

金住 イメージはわからないけれども、おそらく見通しとしては、私は弁護士という職業からは足を洗っている。だからそれまでに、事務所の後継者というか、場をつないでくれる人たちを育てて、弁護士から足を洗って、社会的な場で生き方を展開するという…。

円 具体的に言うのと、どういう職業ですか。

金住 職業はわからないんですけど、例えば「ネットワークちきゅう」なんかでもそうですけれども、なんと言ったのかな、できるだけ稼ぐことから追われなくて(笑)。でもね、人間やっぱり稼がないとだめだと思うの。

円 ハングリーでないよね。

金住 だから最小限食べていけばいいという体制にして。今やっぱり弁護士という職業は、人権の拮抗する場面でやりがいがあるんですけれども、私がやりたい政治的な場面で広く活動していくような、ということからすると、時間をとられすぎるんですね。私の視野はそうではなくて、トータルな個、あるいは、民主主義社会をどうやって作るか、それから女性解放、男女の共生社会というイメージがずっとあって、そういう方向に動ける自分を作っていきたい、というふうに生きてきているでしょう。

将来的には、稼ぐこと、食べることをなるべくシンプルにしている、時間とエネルギーを勉強したり社会的に活動するものに向きたいというのがありますね。

円 そうすると、「ネットワークちきゅう」から、衆議院や参議院にできる可能性もありますか。

金住 いえ、ないです。政治家も弁護士と似たり寄ったりで、そういうものにはつきたくない。むしろ議員を増やしたいわけ。

円 既成の仕事ではなくて、作り

出していく。

金住 そうね。そして、そういうイメージの自分が生きられるには、相当勉強しなければいけない、訓練もしなければいけないと思ってるんです。新しいネットワーク論が、現実のものになるためには、人間的にも発見する能力——人との出会いですね、そういうものがなかったら、いくら理想を思い描いたって、ネットワークは作れないんだから、そういう能力を作っていくことがこれからの課題だと思います。

★

円 いつも元氣な金住さんだけど、ものすごく疲れたり調子が悪いときはどうなさるんですか。ストレスから抜けるためとか、スランプから抜け出す法とか。



金住 それはわりあい私は得意なほうだと思っんです。ごく日常的にはまず飲むこと。それから一人でも行って飲めるいい店を探すこと。それから、いい人と出会って、いい会話をするというのもすごい大事なことよね。

円 本当にそう。どんなに落ち込んでいるときでも、いい話ができると元氣になりますよね。

金住 それからこの間オーストラリアへ行ったみたいに、ぱーっと環境を変えて、思い切って時間を作って旅行をする。

もっと身近で言うとう、いい映画とか、いい絵とか、いい音楽とか、とにかく自分が感動するものを必死で探す。その感動というのは、鍼とかおきゅうとかマッサージよりも、精神的なものの全部を含めたりフレッシュなのね。ストレスというの、精神が感動すると、ぱーっと回復するのね。

★

円 基本的には体が丈夫なんですか。

金住 私は精神的なストレスを上手に解消しないと、ものすごく体に応えるほうなんです。例えばなにか問題があって悩みがあると、普

通の人はそれを延ばすでしょう。延ばさないの。問題があったら集中して考えつめちゃうの。寝ないでも、というぐらいに、考えつめちゃう。つめてつめると、ある人と会って話ながらばっと問題解決が浮かび上がる。絶対に先送りしないんです。考えてもでてこないのは、これは今解決しないんだから、後に回そうってやるんです。円 なるほどね、とことん考えるんだ。

★

円 例えば歯が悪くなるとか、ぎっくり腰になるとかいろいろあるでしょう。そういうときはどうするんですか。体の衰えには、あんまり悩みを持たないほうがいいか。

金住 悩みというのではないけれど、例えば女性の場合には白髪がでてくるとか、しわが増えるとか、そういうのは六〇になったからじやなくて、わりあい感じるでしょう。出産によって痔がでてくるとかね。そのたびに、ああこの調子で年を取っていくんだなというのを、早い時期から自覚させられるという面があると思っんです。幸いこういう仕事をしていることもあって、職業上の役得という

のもあると思っんですね。というのは、人に語ることによって、自分自身を先に考えるということがあるでしょう。人に語る前には、自分をまず考えなきゃいけないから、だから、年を取っていく行き方というの、比較的普段からちよっと先に考えている部分ってあると思っんです。

要するに、いつも自分自身であるような生き方。大事なものをまず優先してやるかどうか、そのために必死で勉強できるかどうか、大事なこのためには努力を惜しまないでいられるかどうか、そういうことさえできて、そのために必要ない出会いがあって友達ができることが一番の財産であって、それさえできれば、どんな年を取ってきて、人はおばさんとかおばあちゃんと言おうとも、自分の中は輝いているという状態が作れるし、それだけが一番の大事なことでじゃないか——という、わりあい早くから見えるということがあると思っんです。

円 少しずつ年を取って体が衰えても、そういうことは気にならないほうですか。

金住 今思うよりも、もっと大変

な状況がでてくるかもしれないけれど、やっぱり自分のことだけを考えないで、いつも自分と人と同じ線上にいて、共に生きがいを見つけていく。その生きがいというのは、決して自分だけの利己的な生きがいじゃなくて、世界を少しでも解放して、一人一人を解放するような方向で考えていこうという、発想の転換があるでしょう。この発想の転換でものこを見たときに、全然違う取り組み方が生まれてくると思うの。

それを今までもずっと繰り返してきているわけでしょう。場面場面で。その延長だと思っんです。一生が。だから、そのときには今は考えられないような問題が起きたとしても、逆に言えばそれを乗り越えられるような発想、自己鍛練さえ作っておけば、きっと新しい創造力がわいてくるだろうという期待感があるんです。

いつも自己創造ができる力を今、養っておきたい。今できないで、将来のことはとても及ばない。そんな感覚です。

★

円 最後にひとつ。お嬢さんの明子さんは今、高三ですよ。しば

らくは大学に入っても家から通われるようだけれど、就職してというふうになっていくと、もうそれぞれ別々に住んだ方がいいと思っ

てらっしゃいますか。  
金住 思ってますよ。大学まではなんとか学費も出してあげるけれど、もう大人になったら自分で生活して、ということ、今から言っています。絶対子供には財産を残さないということも言っています。自分の代で好きなことに使ってお母さんは死ぬんだから、ということも言ってます。

円 (笑) そうすると、金住さんの中には、自分が寝たきりになるなんてことは考えられないんですよけれど、もしそういうことがあったときは、老人ホームに行く

と。:  
金住 私ね。それが一番理想だと思っています。だってね、私が自分の娘の立場になったときに、お母さんの面倒を見るのが日常の生活になったら、どれほど人生がかわいそうかと思うの。だって、いっぱいやりたいことがあって、いっぱい試行錯誤しなきゃいけないときに、自分の親の介護で時間をたくさんとられるというのは、私は

やり切れないと思うのね。そんなことのために、若い人の人生を費やすなんてことは、まちがいだと思う。

それはむしろ、私達がそういうシステムを作る。それは、自立の延長だと思っんです、システムを作るということは。動ける動けなにかかわらず、そして、子供との関係、友人との関係とかは、豊かなものにしていかなかったらつまらないと思うのね。

面倒を見てくれないから、この子は親孝行じゃないとか、愛情がないとか、そういうようなところで。:。例えば今の夫たちが、妻が料理してくれたら洗濯してくれるのを、それが愛情だと思っ込んでいる貧しさ。こういうことだけは、やめにしたいと思っませんか。

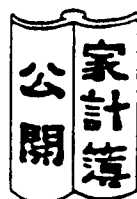
円 ただ自分の娘とか子供の問題だけではなくて、社会で老後安心して老人ホームで暮せるようなシステムを、どんどん作っていききたいですよ。

金住 私達がベストを尽くして、それでだめなときには、今度は世代が受け継ぐべきことなんです。私達もそうしてきたんだから。そうでしょう。そうやって残すのは

しょうがないと思うのね。必死に努力していうことは、やっぱり前の世代がやるべきことだと思っ。そういう生き方をしていたら、し残してもね、いいものが必ずいい関係としてつないでいくはずだと思っいますね。

私も亡くなった母から、いいものを受け継いでいるわけ。それはなにかって言うと、母は自分は解放されなまま生きたけれども、その解放されない無念さを、ちゃんと娘に遺言として残してくれているわけ。それはなにかって言ったら、自分を大事にしなければだめなのよ、親孝行っていうのはね、親の面倒を見ることだけが親孝行じゃないのよ、っていうのを、私の母も娘である私に日常会話の中できちんとメッセージとして、遺言として育ててくれているわけ。そのおかげで、今日の私があると思っっている。それは、母と同じことをしたんじゃ進歩がないから、もう少し膨らみのあることを残して、残ったことは今度は娘たちにつないでもらいたい。

円 なるほどね。今日はどうもありがとうございました。



第五七回 東京都 Kさん

家族構成

私 四十歳(会社員)

次男 十三歳(中学二年)

住居

六畳・三畳の和室+台所の賃貸  
アパート

夫と岩手で暮らすという長男(現在高一)を置いて、次男と二人で上京したのが昨年の四月。知人も無く、東京の地図片手に成城学園駅に降り立ち、不動産屋にとびこみ、今の家(狛江市)を契約しました。

そこに決めたのは、息子が釣り好きなので、せめて多摩川に近いところと考えたから。所持金五〇万円のうち、家の契約で三五万が失くなりました。

布団袋と段ボール二箱にスーツ

## 家計簿内訳 (10月分)

### 〔収 入〕

給与(手取り)	168,000円
(別居中のため児童扶養手当等はなし)	0円
計	168,000円

### 〔支 出〕

貯金	10,000円
住居費(家賃)	58,000円
電話代	5,000円
水道光熱費	8,000円
保健衛生費	3,000円
(健康保険・年金等は給与天引き)	
食費	80,000円
交際費	10,000円
こづかい(私分)	10,000円
教養娯楽費(新聞等も)	13,000円
雑費	2,500円

(赤字分はボーナスで埋める) 計 199,500円

ケースひとつをいれたアパートの部屋の前で、息子はさすがに立ち尽くしました。その足で近くの中学へ転校手続きをすませると、私は鍋や食器を買い、職探し。一週目には近所の歯医者への受付に。二十日間のアルバイトで七万。次がマヨネーズ会社でパート。そしてパン屋にも一週間とアルバイトしながら、今の洋服メーカーに正社員として入社したのです。仕事は荷造りと雑用。でも経理をちゃんとやる人がいないのを幸い、私は

経理士が来るたびに聞いた手伝ったり、週に一度は経理士のところに押しかけ、夜の十一時過ぎまで教えてもらうということを繰り返して、一年後には、大体今の会社の経理ができるようになりました。もちろん収入も、入社時の手取り十二万弱から、十七万近くなり、ボーナスも夏が二八万でした。この冬は四〇万くらいにはなりそうです。

勤務は九時半から夕方六時。時には九時十時まで残業もあります。それで、私は息抜きに食後、喫茶店でお茶をのみますが、これが私の小遣い。教養娯楽費は、新聞・雑誌と、月に一度くらい映画やどこかに遊びに行くものです。交際費は、岩手からよく友人が泊りにきた時のごちそう代。雑費は、何も持っていないのでまだ細々といえるのです。我が家のテーブル・椅子・ガス台等は粗大ゴミの拾ったものです。衣服にかける余裕はありませんが、洋服メーカーに勤めているので助かることもあります。

通勤は三十分で楽なほうですが、夜は夕食・入浴、休日は片づけとけっこうバタバタして子供とゆっくりという時間がありません。父とも兄とも別れ寂しそうですが、長男は休みには会いにきます。今春は兄弟二人でハンドの合宿に参加、夏は弟だけでしたが、大変楽しかったようです。私の家計簿ですが、毎月赤字です。これはボーナスで埋めています。

何号か前のハンド・イン・ハンドで、家裁の調停委員や裁判所などに対する意見、要望を募集しましたが、全国の会員の方から、お手紙が送られて来ます。編集部では来年四月の合併号で、これらの声を参考に、アンケートを実施する予定です。

今号では、今まで届いた一部を紹介しします。どうぞ皆さんの体験した家裁の感想、調停委員に望むことなどを教えて下さい。

なお、以前、電話でも取材する旨を書きましたが、申し出てくれた方になかなか連絡がつかず、残念な思いをしています。簡条書でも結構ですので、手紙かはがきでお寄せ下さい。

●第1回目の調停の日、相手は出席しなかった。しかし、家裁の職員(男性)は「相手が来なければ調停にならない、税金のむだ使いだ、女から離婚を主張するのはとんでもない」とどなりつけた。調停委員が、言葉を慎むようにたしなめてくれたが、怒りはおさまらなかった。すぐる思いでたどりついた調停の日、離婚のための糸口

を見つけるために会った職員の人に、これだけの屈辱を受けなければならぬとは、いったい調停とは何をするところなのだろう。調停委員は励ましてくれたが、一回きりで見切りをつけた。知人に中にはいってもらい、やっと離婚ができた。家裁は大キライ。どんなことがあっても二度と足ははこばない。(宇都宮市 R・T)

●家裁の無料相談は、ほとんど意味がなかった。本当に聞きたいことは「わからない」と言われ、具体的な解答がなく、こちらの状況説明をただだけで終わった。第二弁護士会の相談はよくわかり、人間的な人だったが、三十分五千円という料金は高くて困った。親身になって、しかも的確な解答をえられる無料相談室に作り直してほしい。離婚者は欠陥人間と考えているお役人が多すぎる。

(千葉県 Y・I)

●男性調停委員は四五〇歳位の弁護士、女性のほうは五〇〇六〇歳位の女医。一回目の調停Ⅱ男性調停委員の意見に、つきそってくれた女性弁護士が反対すると、

「僕はあなたと議論する気はありませんよ」とヒステリックに怒鳴った。二回目の調停Ⅱ美人の司法修習生が同席したためか、男性調停委員の態度が豹変、急に女性の味方を装っていた。三回目の調停Ⅱ女性調停委員から、親権とマンションをゆずれという夫の意志を受け入れるようにと、威圧高に何度も強要された。それはできないと断ると、「だって離婚したいんですよ? あなたも悪いところがあつた」と何度も言われた。さらに「養育費も要らないんですよ」と言われた。夫も調停委員と言い合いをしたようで、あんな調停委員に離婚させられるのは意地でもいやだと言っていた。(京都 M・T)

●調停委員と聞くと、女性と思う人が多い。調停委員との話し合いを経験して、相談機能の無いことをしみじみ感じ、いらだった。年齢も高齢で、こちらの質問に適当な返事が無かった。何かよい手だてを探し、円満解決の道と思いい、真剣に質問したが空しかった。古い封建的な心があつて、ひたすら我慢しろと言うばかりだった。我慢できないから調停委員をたずね

たのではないか。何年もの調停委員の経験があるようだったが、今までどんな解決をして来たのか、疑問でしかたない。調停委員は、もっと法律的勉強をしてほしい。また、民生委員や人権擁護委員も同じように、人権侵害があったと聞いている。(東京都 N・A)

●調停委員の前で夫が嘘ばかりつき自分を正当化するので、口をはさむと、「人が話しているときによこやりを入れたりする、そんなところが嫌われるのではないか」と言われ呆然とした。また、話し合いの結果、夫が二十七万円いれることが決まったが、二十七万円いれてくれるだけでも感謝しなくてはいけない、感謝の気持ちが足りないのではないか、ここに来る人は二十七万円いれてくれれば御の字だ、とも言われた。大正生まれの人が多く、女は男性を立てて辛抱しなければ、という考えが強いように思われた。暴力や罵倒は、経験した人でないと分からないことで、平穏な生活をしている人には分からない。だから、調停委員は身元の確実な人というの良いが、少々辛苦をなめて苦労した人を探



用すべきだと思う。また、話し合いの場が、夫婦と調停委員のみなで話を整然と話されて、困ってしまった。何かいい方法はないか。  
 〈大阪府 N・I〉

●一言で言うと、よくまああんなひどい人間がこの世に存在するなあと。人を平気で侮辱し、家裁と呼ばれた女は人間と思っていないようである。人権無視もはなはだしい。調停委員は、離婚をさせるとお金をもらえたり、成績が上がるのかと思うほどなんでもいから片を付けようとする。現在の日本で、制度と頭が一番遅れているのは家裁であると実感した。どういう方法で調停委員が選出されているのか知らないが、もっともな人間が選出されるように再考してほしい。あるいは、調停制度自体を廃止しても良いと思う。裁判離婚の方がずっとましである。  
 〈大阪府 Y・D〉

●男性は白髪の七〇歳代、女性は六五歳くらいの物静かな調停委員。ふたりとも安定した生活をしていることが感じられ、離婚したら生活に困り、わらにもすがる思いで

相談している自分がとてもみじめに思えた。子供の教育上も良くないと言われ、迷いながらも少しでも良い方向へ決断していこうとしている心が揺れた。四回目の調停で離婚が成立したが、そのとき、「あなたは強いですね」と言われたが、強いのではなくてこうせざるを得ないのだ、という言葉が喉までかかった。調停委員ははじめから、割り当てられた仕事をしていく感じであった。相性の悪い調停委員だったら、夫婦関係の調停以前の問題で、こじれてしまう。こちら側から選べるシステムがないものか。また、養育費の取り決めで、夫側は二〇歳までと言っているはずなのに、調停調書には十八歳までとなっていた。調停調書が清書されていたため、言い出しづらくそのままにしてしまった。はつきり言うべきだったと心残りである。〈埼玉県 X〉

●調停委員はえてして古い考えをもった高齢の人が多く、「あんないい主人なのに、奥さんはせいたくだ」と言われた。夫と同居して話し合いたかったが、一人ずつしか話を聞いてくれなかったため、相

手が何をどんなふうに話しているか分からず、同席を頼んだがけんかになるだけで、ますます話がこじれるからと断られた。六カ月間に六回の調停があったが、相手が二回欠席したため調停委員は早く決めなければならないと判断したのか、十分な話し合いができなかった。夫が家を出た理由や使途不明の一千万円のことなど調停ではつきりさせたかったが、すべて自分が悪いという一言でかたづけられ、いまだにナゾばかりである。また、家裁の職員（審判官）の感じの悪いこと。こちらが低姿勢なのをいいことに横柄な態度で、本当にいやな思いをした。反対に、大垣市福祉会館の婦人相談の人には、よく話を聞いてもらい心が晴れた。今でも感謝している。  
 〈岐阜県 H・Z〉

●私の場合、二人の調停委員とも説教などせず、話によく耳をかたむけてくれた。「もう少し自分を主張した方が良かったね」と言われただけである。〈大阪府 S・A〉

●家裁で良い調停委員に恵まれ、大変幸運だった。離婚が決まったと

きは、こんなにうれしいことはない。いくらいうれしかったのを覚えている。〈埼玉 X〉

#### ■事務局便り■

☆今、サンデー毎日で「優しすぎる男たちへ」、小説新潮で「シングル・アゲイン」を連載しています。図書館などで読んでいただけたら嬉しいです。  
 ☆十月十日に仙台へ講演に行った折りに集まってくれた人達で、ハンド仙台の会が発足しました。毎月会合を開いてネットワークを広げたいということで頼母し限りです。  
 ☆十二月は北海道に行きますがそこでもまた会が発足するといひです。

☆愛知県の さんが、東海地方の方達のネットワークの拠点として連絡先になってほしいと申し出て下さっています。ここでもハンドの輪が広がること大いに期待しています。



第一二二回ニコニコ離婚講座

一月二十七日(土) 一時半〜五時。飯田橋セントラルプラザ6F (JR飯田橋下車駅隣り)。参加費は千五百円。金住典子弁護士による「離婚の法律」。希望者は電話で予約を。

☎〇三・四〇二・七三五四

会合のお知らせ

★東京の会合

十二月二十四日(日)午後一時から。さん宅で、ハンドの発送のあと、クリスマスのミニ・パーティを。円より子からワイン等の差し入れあり。どうぞお子さん連れで。パーティだけの参加も歓迎です。参加希望はへ予約を。★

から徒歩十二〜三分。当日駅からTEL下されば道順教えます。

す。

★大阪のニコニコ離婚講座

一月二十七日(土) 午後一時半〜。大阪府立文化情報センター(住友中之島ビル5F) 参加費は千円。奇数月の第二土曜日はハンドの例会。竹川事務所にて。午前十時半〜。

離婚制度研究会のお知らせ

第九回の研究会を一月九日(火)、午後六時半〜。千駄ヶ谷社会教育館2Fで。庄司洋子先生の「児童の保育と養育費」。参加費千円。大変勉強になります。どなたでも自由に参加ください。

●ハンド 求人案内●

「ニッセイ」(NISSAY)にあなたの自立をお手伝いさせていただけませんか? 勇気をもって飛び込んでみましょう!! ぜひ一度新宿NSビルでの会社説明会に参加してみてください。詳細は御一報いただければ資料をご送付させていただきます。東京都新宿区西新宿二・四・一 新宿NSビル6F 日本生命新宿NSビル支部 担当 小瀧、守屋 迄 ☎(〇三)三四二・一〇七三〜四 お待ちしております。

☆離婚一〇番

〇三・四〇二・七三五四  
〇三・四〇二・四三八五  
電話相談は第一、第三土曜日が午後一時〜四時。第二、第四、第五土曜日が午後七時〜十時。

購読料について

現在つぎの三通りの方法をとらせていただいています。

- ① 一年間三〇〇〇円(送料共)
- ② 二年間まとめて前払いしてください。二年年分、六〇〇〇円のところを五〇〇〇円に。
- ③ 出世払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつでも遠慮なく申し出てください。それぞれ出費が多く大変でしょうが、期限切れの通知の入った方、またはこの折りにという方、いずれもご都合のよい方法でどうぞ。

(振込先) 各地の郵便局にて振込用紙は無料でもらえます。東京一四・二二〇五四二 ハンド・イン・ハンドの会